

中央防災会議「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」(第13回)発表資料



Inamura no Hi Project

アジア防災教育 子どもフォーラム

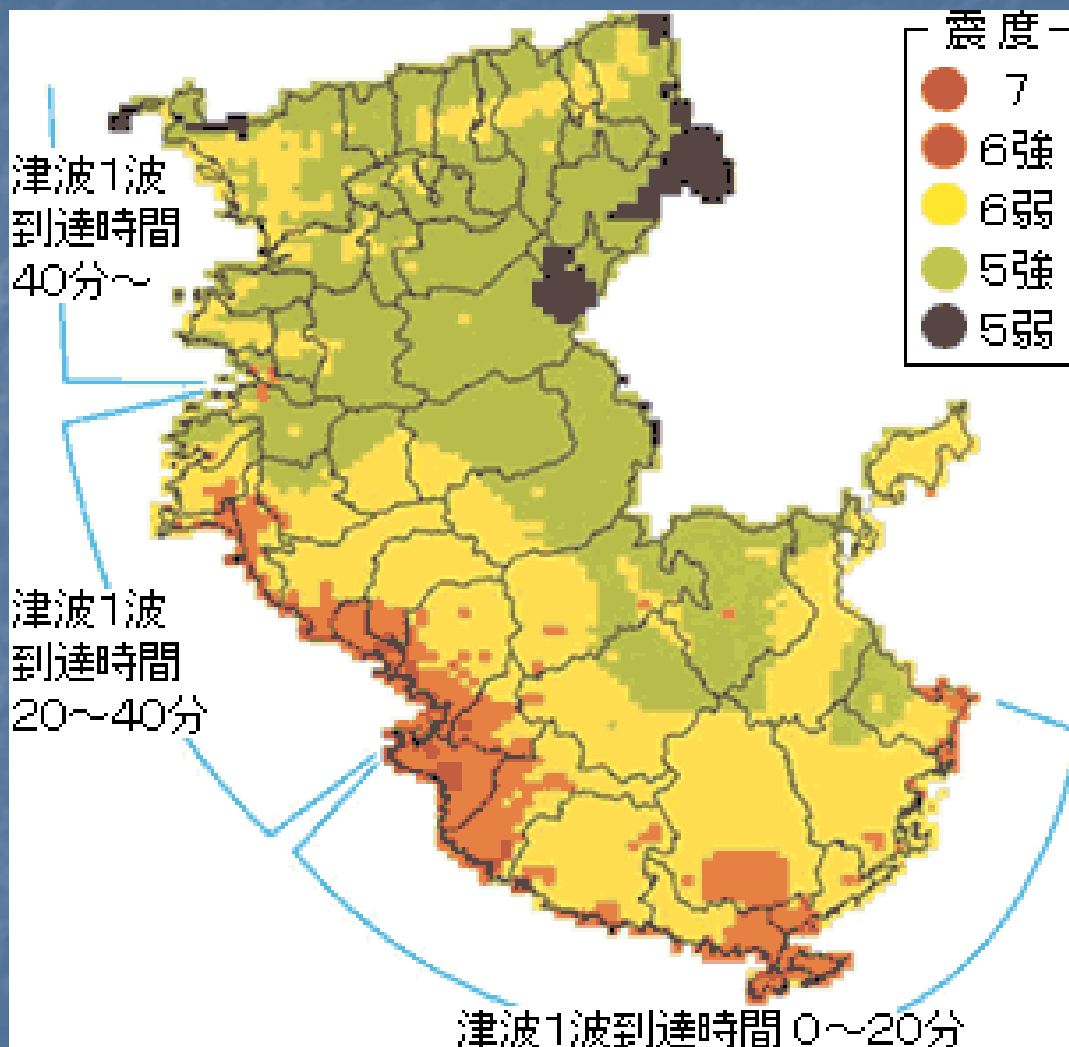
Asian Youth Forum for Disaster Reduction Education

2006年12月1日(金) 於:全国都市会館

和歌山県教育委員会

(財)ユネスコ・アジア文化センター

和歌山県: 東南海・南海地震への備えが喫緊の課題



高まりが十分でない県民の防災意識

1 「稲むらの火」を世界的な防災教材に

- 国連防災世界会議(2005, 1, 18~22 神戸)
小泉首相のステートメントで「稲むらの火」を紹介



「防災」から「減災」へ

被害をいかに受け入れるか

「防災文化の創造」

日常生活にどう溶け込ませるか

- 「稲むらの火」のふるさととしてのミッション
- 防災教育の充実をどう図るべきか

- * 世界的な防災教材として「稲むらの火」の普及
- * 防災教育のネットワークの確立
- * アジア地域における防災教育の発展に貢献
- * 地域防災を支える次世代育成(高齡化の進展)



未来の地球のために何かができるかを、子どもの視点から考えることが重要

アジア防災教育子どもフォーラムの開催

主催:

- アジア防災教育子どもフォーラム実行委員会
- 和歌山県教育委員会
- ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)
- 稲むらの火協議会 (県教委・広川町教委・湯浅町教委)

協力:

- NHK和歌山放送局
- NPO法人環境防災総合政策研究機構 (CeMI)
- アジア防災センター (ADRC)
- 学校法人立命館

後援:

- 内閣府
- 総務省消防庁
- 外務省
- 文部科学省
- 国土交通省
- 気象庁
- 環境省
- 日本ユネスコ国内委員会
- 国際協力機構 (JICA)

サミット参加者

- インド洋地震・大津波被災地の子ども達:
インド、インドネシア、マレーシア、スリランカ、タイ
各4名
 - 常に津波の危機にさらされている地域の子ども達:
バングラデシュ、フィリピン
各4名
日本(和歌山県代表)
9名
 - 引率者
各国2名
 - ファシリテーター
(インド、インドネシア、スリランカ、ACCU)
6名
- 計 8カ国 59名

和歌山県外招待参加者

- 地震災害被災地域の高校生:
兵庫県神戸市、新潟県小千谷市 各4名 計 8名
 - 政府地震対策地域の中・高校生
千葉県、静岡県、高知県(くろしお教育サミット)
神奈川県、徳島県 計16名
 - 引率者 各校1名 計 8名
-
- 合計32名

2 防災の担い手となる子どもを育てる

(1) 被災地からの学び

「稲むらの火」のふるさと(和歌山県広川町)を訪ねる

阪神・淡路大震災を学ぶ(人と防災未来センター・兵庫県立舞子高校)

(2) インド洋地震津波被災国訪問

スリランカの被災地域へ

政府機関・国際機関・NGOからの
防災対策・復興の取組を学ぶ

ゴール周辺被災地域での聞き取り



災害と向き合い、アジアとともに考えるプラットフォーム

3 アジア防災教育子どもフォーラムの開催

	午前	午後	夕方以降
10/30 (月)		オリエンテーション ワークショップ1 (子どもサミット参加者)	歓迎夕食会
10/31 (火)	9:30~15:20 広川町現地研修・交流会(子どもサミット参加者)		ワークショップ2 (子どもサミット参加者)
11/1 (水)	10:00~11:30 開会式 表彰式(ラジオ番組コンテスト) 発表(防災教育実践事例)	14:00~16:30 子ども防災教室	ワークショップ3 (子どもサミット参加者)
	9:00~17:00 災害報道・防災教育関係資料展示	交流会 昼食会	
11/2 (木)	9:30~12:30 アジア子ども防災サミット	14:00~16:00 中学生・高校生による 記念制作劇	16:10~17:00 閉会式 サミット成果報告 わかやま宣言
	9:00~17:00 災害報道・防災教育関係資料展示	特別講演 河田恵昭氏	記者会見 お別れ夕食会
		わかやま宣言へ向けてのとりまとめ	
11/3 (金)		高野山世界遺産見学	

■ =和歌山県民文化会館
 ■ =県民会館大ホール
 ■ =県民会館小ホール
 ■ =ホテルアバローム紀の国
 ■ =その他

広川町現地研修・交流会

- ・津波避難訓練と広川町の防災対策
- ・防災プロからの技術指導
- ・広村堤防、耐久舎で浜口梧陵を学ぶ

探究

アジア子ども防災教室

- ・自然災害のメカニズムを学ぼう
- ・子どもが写した129枚の写真
～被災者の心のケア～

ワークショップ1・2・3

- ・災害とは何か
- ・災害への備えを理解する
- ・備えと対処方法

アジア子ども防災サミット

テーマ:災害に負けない社会づくりのために何が必要か

わかやま宣言

フォーラム関連事業

絵本「浜口梧陵伝」の制作
記念創作劇「稲むらの火と
浜口梧陵」上演

ラジオ番組コンテスト全国募集
防災教育実践事例全国募集
防災絵手紙大集合！
防災・防災教育に関する展示

- ・インド洋地震津波報道写真展
- ・協賛企業・団体の取組紹介





Asian Youth Summit for
Disaster Reduction
&
The Wakayama Declaration
アジア防災子どもサミットとわかやま宣言

子どもたちによる学びとその成果

参加者

- ・ インド洋地震・大津波の被災地の子ども達:
インド、インドネシア、マレーシア、スリランカ、タイ
各4名
 - ・ 常に津波の危機にさらされている地域の子ども達:
バングラデシュ、フィリピン
日本(和歌山県内)
各4名
9名
 - ・ 引率者
各国2名
- 計 8か国 53名
- ・ ファシリテーター(インド、インドネシア、スリランカ、ACCU) 6名

2006年10月30日（月）

オリエンテーション



- 地球の歴史と災害について考えよう
- フォーラムの目標：共有し、学び、議論し、そして楽しもう！（Share, Learn, Discuss and Have Fun!）



わかやま宣言作成用アイデアボード&共同絵画キャンパスの紹介

10月30日（月）



ワークショップ 1 災害ってなんだろう

- お互いの事を知って友達になろう
(アイスブレイキング)
- 災害とは... 予期できない出来事
人々に影響を与える出来事
- 災害の種類 – 津波、地震、火山、洪水、
地すべり など

10月30日（月）

ワークショップ 1 災害ってなんだろう



アイスブレイキング「人間知恵の輪」



広川町視察・研修

- 避難訓練
- 広川町の防災計画-早期警報システム 等
- 耐久高校生徒の指導による応急処置
- 浜口梧陵の偉業：広村堤防と耐久舎の視察

10月31日（火）

広川町視察・研修



簡易担架の作り方



三角巾の使い方

10月31日（火）



広川町視察・研修



非常時用丸太コンロ

浜口梧陵の築いた広村堤防を歩く



10月31日（火）

広川町視察・研修



非常時用丸太コンロ 間伐材などを利用している



燃え上がってきたら逆さまにして利用

10月31日（火）

ワークショップ 2



広川町視察で学んだ事 事前の備えについて理解しよう

- 「稲むらの火」から学んだこと
- 自分の国で起こる災害って？
- 自分の国の災害に対する優れた実践と
改善すべき事柄は？

10月31日（火）

ワークショップ 2



広川町視察で学んだ事 事前の供えについて理解しよう



11月1日（水）



子ども防災教室

- 1時間目:地震と津波発生のメカニズムを知ろう
- 2時間目:被災者の心のケアについて考えよう



壇上の各国代表生徒達

11月1日（水）

ワークショップ 3

災害に関係する人々： 備えをしよう



- 関係する人々
- 関係する組織
- 重要な行動を時間軸で見よう:
 - 備え (事前)
 - 緊急対応 (直後)
 - 復興 (事後)
- 様々な災害とそれに対する備え・対応を体現しよう
ロールプレイ劇の作成・発表: 津波、地震、火山、洪水

10月31日（火）
11月 1日（水）



防災メッセージ共同絵画



10月31日(火)
11月1日(水)

防災メッセージ共同絵画



11月2日（木）

アジア防災子どもサミット



子ども達の手による「わかやま宣言」が作成された



一文に複数メッセージがあれば分割してグループ分け

11月2日（木）

閉会式



「わかやま宣言」と絵画の発表



9か国語で「わかやま宣言」の発表

4枚の絵画が一つにつながった



フォーラムテーマソング『Senang Happy』（インドネシアの子どもの歌を英訳）も披露

11月2(木)



お別れ夕食会



